

『北陸地域ICTイノベーションセミナー2016』を開催

～ 平成28年度SCOPE研究成果発表会 ～

北陸情報通信協議会では、平成28年11月22日（火）、金沢東急ホテルにおいて、北陸総合通信局、ICT研究開発機能連携推進会議とともに、「北陸地域ICTイノベーションセミナー2016」を約90名の参加のもと開催しました。

冒頭、主催者を代表して北陸総合通信局の吉武局長が、「IoTやAI等、先端的な面ばかりが目につきやすいが、ICTは社会の様々な場面、日々の暮らしのそこかしこで応用できる技術であり、身近なところに課題解決のシーズやニーズがある。」と挨拶しました。

基調講演では、不破 泰 氏（信州大学 総合情報センター長 教授）が、「センサーネットワークによる安全・安心な街づくり」と題して、「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」の支援を受けて、長野県塩尻市において実施したご自身の取組を講演されました。地域全体の安全・安心を確保する防災・減災システムや野生鳥獣センシングシステムなどのセンサーネットワークやアプリケーションを開発し、地域課題の解決に取り組みられたご見識から、これまでの研究成果と、自治体や市民といったユーザーの視点における研究開発の必要性、同様の地域課題を抱えている自治体への横展開の可能性を示されました。

続いて、総務省情報通信国際戦略局技術政策課 技術調査専門官 河野 隆宏 氏が、SCOPEを中心とした総務省におけるICT分野の研究開発の取り組みを説明しました。

その後、平成26年度及び平成27年度に北陸地域で採択されたSCOPEの「地域ICT振興型研究開発」4課題について、研究代表者からそれぞれの研究の概要と成果を発表しました。

- 「発光・蓄光金属を用いた災害危険度感知センサーとそのセンサーネットワーク展開の研究開発」
富山大学大学院理工学研究部 教授 堀田 裕弘 氏（発表は同大学大学院理工学研究部 講師 柴田 啓司氏）
- 「自動運転自動車の地域振興への活用に向けた研究開発」
金沢大学 新学術創成研究機構 自動運転ユニット ユニットリーダー 准教授 菅沼 直樹 氏
- 「眼鏡産業の高付加価値化を目指すアイ・ウェア型レーザ・ディスプレイ超小型化技術の研究開発」
福井大学 産学官連携本部 客員教授 勝山 俊夫 氏
- 「高齢者の健康自立を支えるコミュニティ形成のための地域情報分析・統合システムの開発」
北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 池田 満 氏

会場の後方では各研究内容のポスターが展示され、デモンストレーションも行われました。発表の前後には多数の参加者が、研究者自身から研究内容の説明を受けました。



【基調講演：信州大 不破教授】



【総務省 技術政策課 河野専門官】



【研究内容の説明を聞く参加者】



【セミナーの様様】